

どこの幼稚園も大好きな『どんぐりコロコロ』、どこの小学校でも教える『とべとべとんび』、また、今のお母さんが小学校時代によく舞踊や劇にされた「あれ天人は——」の『羽衣』、そして、有名な声楽家がよく独唱される『城ヶ島の雨』などの作曲者、梁田貞先生の名曲、百五十余曲の集大成。これについて、

山田裕作先生は

「梁田君は、いつお会いしても、とてもやさしい温かい気持の人。——吟遊詩的な作曲者……そのなめらかな旋律は、美しい

民謡風な色で扮飾されていた」

といい、前後四十余年間、子どもの歌の創作研究を共にされた葛原しげる先生は

「曲というより、節というより、『うた』そ

のものであるのが、梁田君の作品……艶も甘味も豊かで、香氣溢るるばかり、……昔も今も行末も、人の魂をゆさぶり、人の魂に沁み込んで、人の世を浄化し、美化するものとして、全世界に誇るべく——」

といっている。殊に、音楽学校等の他に、保

童謡と歌謡の全玉篇

『梁田貞名曲集』の出版

葛原しげる

母養成所でも教師であった梁田先生の名曲の力、最も幼児向のものでは、「みつばち」「ぱら」「七面鳥」「お玉じゃくし」「木の葉」「かにの子」「とんぼの遠足」「カラコン」「草のダンス」などがあり、幼児に歌って聞かすによいものには、「鐘のこえ」「お花のボート」「親牛子牛」「花ざかり」「山彦」「蛙の学校」「稻穂の雀」など。

また、女性向に、家庭向に、愛唱されたいものは、

「白孔雀」「二つの星」「あざみの花」「胸の炎」「蜘蛛」「飛行機」「平和なる村」「寒月」などで、全く、ハートを突くものばかり。

近年我国でも豪華な出版物が多いが、楽譜集でこれほど立派なものはない。さすがは、子どもの為なら、芸術の為ならと、いつも犠牲的な良心的な出版を続いている玉川学園大学出版部。

(B5判)

定価1000円
税100円